

概 況

令和7年度に発生した事故は、以下のとおり。

○労働災害（死亡0件、傷害16件）

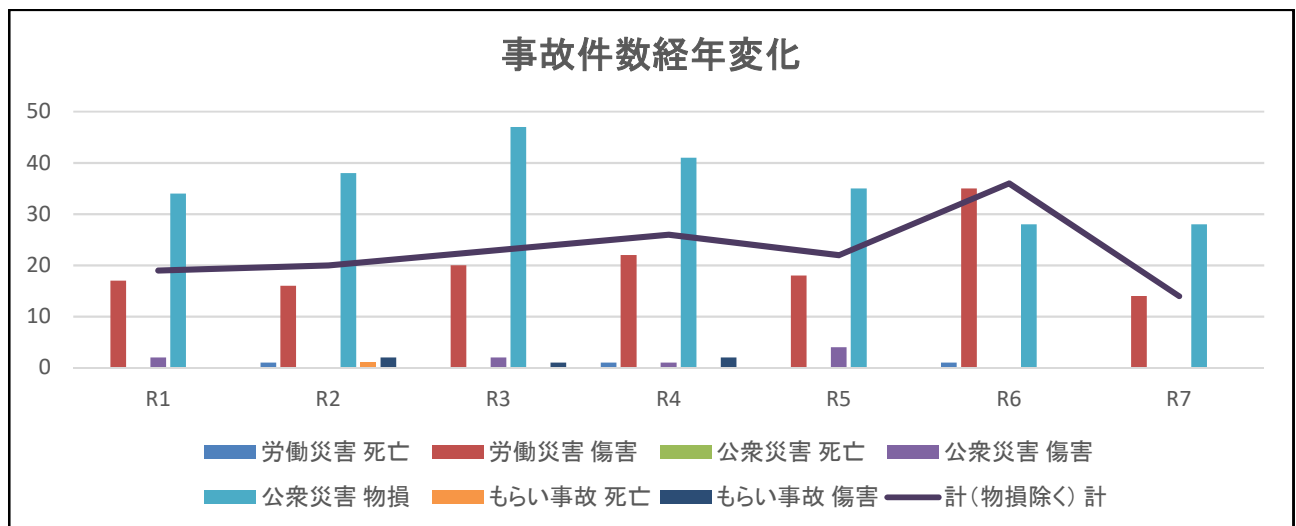
傷害事故16件の内、休業4日以上を要する事故は7件になります。墜落・転落と挟まれ・巻き込まれが主な事象になります。

○公衆災害（死亡0件、傷害0件、物損26件）

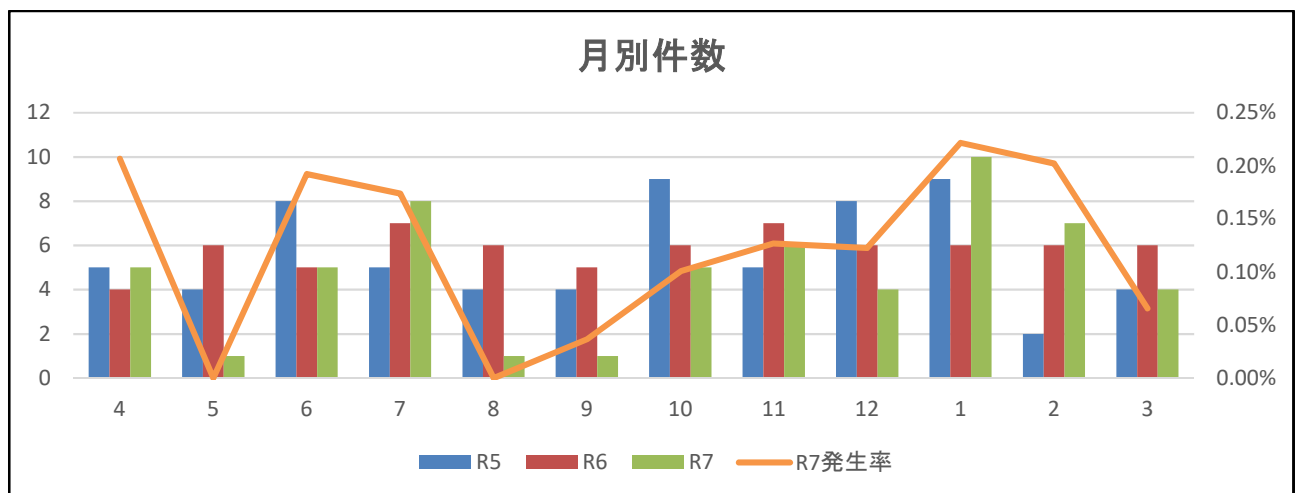
物損の内訳は、地下埋設物10件、車両運行によるもの7件、飛石飛散によるもの4件、架空線の切断5件になります。

これらの事故を他人事とせず、防止対策を工夫して「事故ゼロ」を目指しましょう。

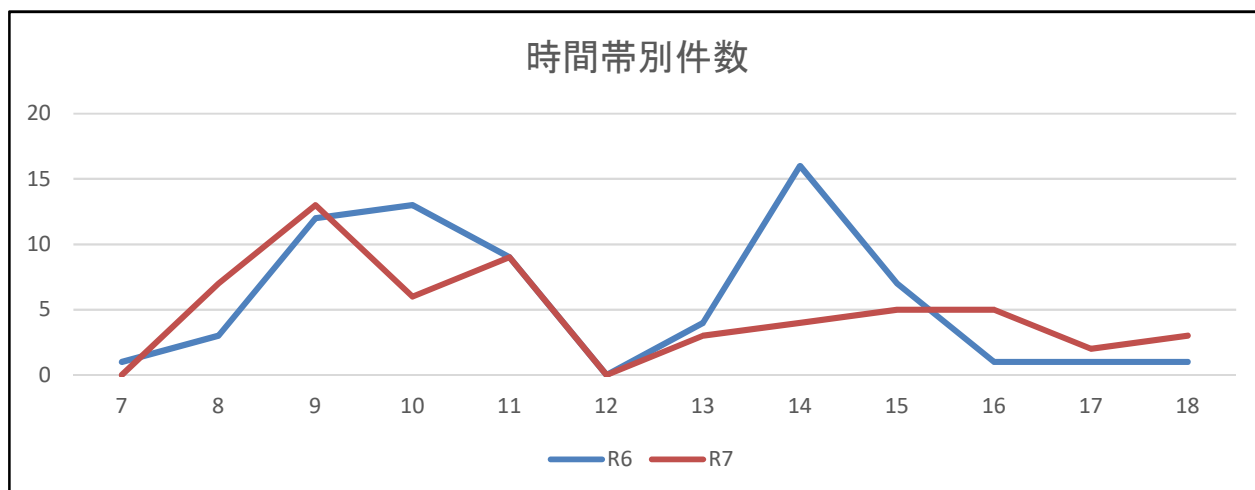
R7まとめ



毎年、一定数の労働災害(傷害)と公衆災害(物損)が発生しているが、令和7年度は事故件数が一番少なくなっている。労働災害(傷害)の中で多い種別は、挟まれ・巻き込まれ、公衆災害(物損)の中では、埋設管損傷事故が多い。



令和7年度の月別事故発生率は年始が1番多く、暑くなり始めの時期も多い。



令和6、7年度に共通して作業開始後の9時の事故が多い。

これらのことから、時期的には季節の変わり目に安全パトロールなどの実施、時間的には始まりの時間でKYなど再確認し、自覚することが重要であるとわかります。

一現場・安全ひと工夫

「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！

No.	A-press 安全通信 掲載号	工夫事例	転落 墜落	接触 挟まれ	公衆 災害	熱中症	見える化 他
1	R7-10月号	扉の開閉範囲を床にテーピング		●			●
2	R7-11月号	農業用水管位置を確認し 注意喚起の看板設置					●
3		熱中症チェッカーを全作業員に配布で、熱中症発生のリスクを低減				●	
4	R7-12月号	脚立天板に注意喚起表示	●				●
5	R7-12月号	作業員用通路土階段蹴上端部を赤ペイントで踏み外し転倒防止					●
6	R8-1月号	暗い作業環境での足場を利用したLED仮設照明の工夫		●			
7		バックホウ平爪使用にて既設埋設物損傷のリスクの低減			●		
8		ヘルメットに反射テープで事故防止			●		
9		外国人作業員向けの安全教育資料にGoogle翻訳機能を活用					●
10		交通整理人の猛暑対策にパラソルを設置				●	
11		過積載防止対策を可搬式トラック重量計でチェック					●

好事例は引き続き紹介します。アイデア募集中！

A-press について

『A』は、ずばり安全 (Anzen) の “A”

『A』は、アルファベットの最初の文字
工事等に当たり、安全は最も優先されます。

安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していく予定です。